

## ごあいさつ

山口県バスケットボール協会理事長就任に当り、一言ご挨拶申し上げます。

皆様方には平素より本県バスケットボール協会の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、小松前理事長より後任の指名を戴き、去る2月24日の県理事総会において承認を得、本年4月より微力ではありますが理事長を務めさせていただく事になりました。

前理事長の小松 徹氏ならびに前事務局長の澄川雅士氏には平成9年度より5期10年の永きに亘って県協会発展のため一方ならぬご尽力を戴きました。この間、小松理事長を中心に協会規約の改編や組織の整備など積極的に取り組まれ、機能的な組織運営と財政基盤の充実を図って戴きました。また、チーム力強化の普及・育成面においては、若き指導者への指針でもある「山口県バスケットボール協会技術指導書」の刊行。さらに、松本 正委員長を中心に4年の歳月をかけ本年3月に完成を見た、山口県バスケットボール協会史60年の歩み「夢を追う」の編纂など、県協会にとって歴史に残る大きな事業を成し遂げられました。

こうした事業に加え技術・強化の面で記憶に新しいのが、成年男子の岡山国体準優勝です。長身選手のいない山口県チームが基本に忠実に一丸となってプレイする姿は、本県のみならず他県のバスケットボール関係者にも大きな励みになったと確信しています。組織の健全な運営とチーム力の強化、そして「バスケットボールを愛する全ての人への配慮」に努力されたお二人のご苦勞に対し、深く感謝とお礼を申し上げる次第です。

さて、本県は平成23年10月に国民体育大会の開催を控えています。大会開催までの準備期間は4年6ヶ月となりました。理事長就任にあたって、まず考えたのが県協会に「国体準備委員会」を組織し機能させる事でした。すでに県・市関係では国体準備室も立ち上がり着々と山口国体へ向けての準備が進められています。こうした状況を踏まえ、独立した一つの委員会組織が必要であると判断したからです。委員長にはクラブ連盟での組織運営に経験豊富な広崎博之氏にお願いしました。また、チーム強化の面で強化・普及体制のより一層の充実を図るため常任理事に山根浩一氏を迎え、河上年博強化・普及委員長のバックアップをお願いしました。さらに、これまで小坂祐三委員長を中心に YABBA ホームページの運営など精力的に活動している広報委員会を「企画・広報委員会」としました。これは、バスケットボール関係者のみならず、バスケットボールを愛する多くの皆さんに対して、これまでの形式に囚われない様々な企画を立案し、バスケットボールの素晴らしさを発信して行きたいと考えています。

バスケットボールとの出会いから41年、プレイヤーとして審判員として、また微力ながら県協会役員の一員としてバスケットボールに係わってまいりました。4月からは理事長として山口県協会を代表する責任ある立場での職務がスタートします。組織の機能的且つ有効な運営と財政の健全な運用に努め、山口国体の成功を目指して、「人の和を大切に」をモットーに活動してゆく所存です。しかしながら、協会運営は決して一人の力で機能するものではありません。副理事長の河上年博氏・西村 修氏との連携を図り、協会役員の皆さんのご協力を戴きながら、一步一步着実に山口県バスケットボール協会の発展に努力してまいりますので、これまで以上のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2007年4月

山口県バスケットボール協会 理事長 川武 修